

むつ市議会全員協議会会議録

○開会の日時 平成22年 6月 8日（火） 午前11時20分開会
午前11時48分閉会

○場 所 むつ市議場

○出席議員（26人）

1 番	澤 藤 一 雄	2 番	新 谷 泰 造
3 番	浅 利 竹二郎	4 番	工 藤 孝 夫
5 番	横 垣 成 年	6 番	新 谷 功
7 番	鎌 田 ちよ子	8 番	目 時 睦 男
9 番	野 呂 泰 喜	10 番	川 端 一 義
11 番	中 村 正 志	12 番	富 岡 修
13 番	佐々木 隆 徳	14 番	菊 池 広 志
15 番	半 田 義 秋	16 番	千 賀 武 由
17 番	白 井 二 郎	18 番	山 本 留 義
19 番	岡 崎 健 吾	20 番	馬 場 重 利
21 番	山 崎 隆 一	23 番	高 田 正 俊
24 番	村 川 壽 司	25 番	富 岡 幸 夫
26 番	斉 藤 孝 昭	27 番	村 中 徹 也

○欠席議員（1人）

22 番 川 端 澄 男

○説明のため出席した者

市	長	宮 下 順一郎
副 市	長	野戸谷 秀 樹
教 育	長	遠 島 進
公 営 企 業 管 理 者		遠 藤 雪 夫
総 務 政 策 部 長		阿 部 昇
財 務 部 長		下 山 益 雄
民 生 部 長		齋 藤 秀 人
保 健 福 祉 部 長		鴨 澤 信 幸
経 済 部 長		櫛 引 恒 久

建 設 部 長	山 本 伸 一
教 育 部 長	佐 藤 節 雄
川 内 庁 舎 所 長	布 施 恒 夫
大 畑 庁 舎 所 長	若 松 通
脇 野 沢 庁 舎 所 長	片 山 元
総務政策部副理事総務課長	花 山 俊 春
財 務 部 副 理 事 財 政 課 長	石 野 了
公 営 企 業 局 政 策 推 進 監	成 田 等
水 道 技 術 専 門 監	
総務政策部総務課総括主幹	野 藤 賀 範
総務政策部総務課主任主査	澁 田 剛

○事務局出席者

事 務 局 長 須 藤 徹 哉	次 長 澤 谷 松 夫
総 括 主 幹 濱 田 賢 一	総 括 主 幹 金 澤 寿々子
主 任 主 査 石 田 隆 司	主 事 井 戸 向 秀 明

(午前 11 時 20 分 開会)

○議長（村中徹也） ただいまから全員協議会を開会いたします。

本日の全員協議会は、各一部事務組合の現況と経過報告を受けることにしております。

それでは、市長から報告を求めます。市長。

（宮下順一郎市長登壇）

○市長（宮下順一郎） 各一部事務組合の現況と経過について、その概要をご報告申し上げ、協議の参考に供したいと存じます。

最初に、一部事務組合下北医療センターについてであります。平成22年3月25日開会の組合議会第114回定例会に提案され、可決及び承認されました6議案についてご説明いたします。

まず、議案第2号 一部事務組合下北医療センター職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例についてであります。これは国及び県に準じ、職員の勤務時間を改めるほか、労働基準法の一部改正に基づき、月60時間を超える時間外勤務手当の支給割合を引き上げるとともに、当該手当の支給にかえて、支給割合の差額分を時間外勤務代休時間に指定することができる制度を設けたものであります。

次に、議案第3号 一部事務組合下北医療センター職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例についてであります。これは佐井歯科診療所に勤務する職員の平成22年度における給料月額及び期末・勤勉手当を減額したものであります。

次に、議案第4号 一部事務組合下北医療センター病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例についてであります。これは医師の異動に伴い、川内診療所の診療科目を変更したものであります。

次に、議案第5号 一部事務組合下北医療センター総務費に係る負担金の平成22年度分賦につき承認を求めることについてであります。これは平成22年度の議会費を除く総務費の構成市町村への分賦について承認を得たものであります。

次に、議案第6号 平成21年度一部事務組合下北医療センター補正予算についてであります。これは事業費の確定、決算見込み等により補正したものであります。

次に、議案第7号 平成22年度一部事務組合下北医療センター予算についてご説明いたします。まず、業務の予定量についてであります。病床数は702床、患者数は入院患者を年間延べ16万746人、外来患者を年間延べ36万7,023人と見込んでおります。

次に、収益的収入及び支出についてであります。収入では本部収益及び病院事業収益で118億2,149万5,000円、これに対する支出では、組合事務費である総係費及び病院事業費用で114億4,617万8,000円を予定し、差し引き3億7,531万7,000円の純利益となる収支計画となっております。

次に、資本的収入及び支出についてであります。収入では14億373万8,000円、これに対する支出では17億2,962万4,000円を予定しております。なお、施設ごとの病床数等につきましては、お手元に資料を配布しておりますので、省略させていただきます。

また、2月1日後の医師の異動につきましても、お手元に資料を配布しておりますので、ご了承いただきたいと存じます。

次に、下北地域広域行政事務組合についてであります。平成22年3月24日開会の組合議会第92回定例会に提案され、可決及び承認されました6議案1報告についてご説明いたします。

まず、議案第1号 知的障害者更生施設しもきた療育園の民間移譲に伴う関係条例の整備等に関する条例についてであります。これは去る3月31日をもってしもきた療育園を廃止し、民間に経営移譲したことに伴い、関連する条例について所要の改正をしたものであります。

次に、議案第2号 下北地域広域行政事務組合職員定数条例の一部を改正する条例についてであります。これは組合の組織機構の見直し等により、管理者の事務局職員等の定数を減員したものであります。

次に、議案第3号 下北地域広域行政事務組合職員の給与に関する条例及び下北地域広域行政事務組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例についてであります。これは労働基準法の一部改正に基づき、月60時間を超える時間外勤務手当の支給割合を引き上げるとともに、当該手当の支給にかえて、支給割合の差額分を時間外勤務代休時間に指定することができる制度を設けたものであります。

次に、議案第4号 下北地域広域行政事務組合職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例についてであります。これは組合の執行機関に新たに参与の職を設けることに伴い、所要の条文整備をしたものであります。

次に、議案第5号 平成21年度下北地域広域行政事務組合一般会計補正予算についてであります。これは決算見込み等により補正したものであります。

次に、議案第6号 平成22年度下北地域広域行政事務組合一般会計予算についてであります。予算総額は歳入歳出とも66億1,047万4,000円となっております。

次に、報告第1号についてであります。これは、平成21年度下北地域広域行政事務組合一般会計補正予算でありまして、当市における景気対策関連交付金を活用した下北文化会館及び当市管内の消防署等への地上デジタル放送対応テレビ等購入に伴う補正に急を要したため専決処分し、報告したものであります。

以上、各一部事務組合の現況と経過の概要をご報告申し上げた次第であります。

○議長（村中徹也）　ただいまの市長の報告及び各一部事務組合の現況について質疑ありませんか。横垣成年議員。

○5番（横垣成年）　3点ほどお願いいたします。

まず、むつ総合病院に関してですが、メンタルヘルス病棟を改築するという話を聞いているのですが、この現状とこれからいつ改築が始まるのかをお聞きしたいなというふうに思います。

2点目は、今むつ総合病院の病棟の横の駐車場にヘリポートをつくるという新聞報道がされたのですが、このヘリポートがどういう状況に今なっているかということをお聞きしたいと思います。というのは、私がちょっと危惧するのは風の問題で、あのヘリポートをつくる部分が、風の問題で大丈夫な場所かなというのを大変心配しているのです。西風が強いと、病棟に結構強い風が当たって、そして駐車場に不規則な、いわゆる乱気流というのですか、不規則な流れの風がああたりに舞うというふうな感じで私考えていて、ですからそういう場合になると、もうヘリコプターはおりれないかなと、そういう場所でないかなというふうに思って、大体ヘリポートをつくるというと、建物の屋上とかにつくるのですよね。というのは、屋上のほうは風の乱気流は余りないので、結局すうっとおりれると。ところが、建物のわきとなると、やっぱり建物に当たった風が横から当たりますので、そういう意味でそこら辺をどの程度検討したかなということ。

あと、今ヘリポート、この庁舎のわきにもあるし、運動公園も使う、むつ総合病院のヘリポートもつくるとなると、これからどういう形でこの3カ所は利用される場所になるのかなと。そこをもうちょっとお聞きしたいなと思います。

それと3点目消防の職員についてです。私前、たしか杉山前市長時代に聞いたときには、職員は減らさないで頑張るというふうな答弁もらった記憶があるのですが、何か最近聞くと、やっぱり若干職員を減らしているような話も聞いておりまして、そこの市長の考え方。やはり命を守る重要な部門なので、余り市町村合併したからといって減らすというふうな、そういう単純な

部署ではないのではないかと、みんな3交代で回して勤務している、そういう職場なので、そこで一人でも減らされると、みんなに全部負担がかかっていって、なかなか緊急の対応が難しくなるのかなというのがありますので、その職員の数を今後とも減らすのかどうか、市長の考え方をお聞きしたいなと思います。

以上、3点お願いします。

○議長（村中徹也） 市長。

○市長（宮下順一郎） まず、むつ総合病院のメンタルヘルス科の診療棟、入院病棟の件なのですけれども、今実施設計を終わりました、予算も滞りなく進んでおり、夏ごろには着工というふうな段階になっております。これまでも非常に老朽化して、患者さん、また入院なさっている方々に対して、非常に大きなご負担をおかけした部分を間もなく解消できると。来年度、平成23年度終わりには完成ができるのではないかなというふうな見通しになっております。

それから、ヘリポートの件なのですけれども、ただいまの風、ダウンバーストと、それから乱気流の問題、このヘリポートにつきましては、今専門の方々からさまざまアドバイスをしていただきまして、内部検討を今しているところであります。予定では、道路際のほうの駐車場に鉄骨でかさ上げをしまして、そこにさまざまなヘリコプターが離発着できるような体制で臨みたいというふうなのが、その病院側の希望であります。また、この前も庁舎のほうの前に、私留守をしておりましてけれども、2回ほどドクターヘリが離発着をしたというふうなことで、ヘリポートの重要性、またその部分での命のネットワーク、県病、弘前大学病院、それから八戸市民病院、むつ総合病院というふうな形の中でヘリポートのネットワーク、これができてきますと、さまざまな部分で救命率、また安心感をもたらすことができるのではないかと、こういうふうに考えております。この部分におきまして、今専門業者とさまざまな部分で検討を進めている段階でございます。正式に確定をした場合、当然医療センター議会でご報告を申し上げ、またその時期を見てこちらのむつ市議会のほうにも全員協議会なりでご報告、また行政報告なりをするべく管理者のほうにお伝えをしておきたいと、このように思います。

それから、3点目の消防職員の定員の問題なのですけれども、これはやはり極端に私は減らすべきではないと。現状維持もしくはふやすというふうなこともなかなかこれは厳しゅうございますけれども、現状維持の線、そしてそのそれぞれの地域の署の体制をよく勘案しながら配置をしていかなければいけない、このように思っております。

以上です。

○議長（村中徹也） 横垣成年議員。

○5番（横垣成年） ヘリポートについて、ちょっと答弁漏れで、再度聞きます。いわゆる今、それこそむつ総合病院にできれば3カ所になるので、この連携というのを市長としてはどういう形で利用していくという考え方を持っているのか、再度お聞きしたいと思います。

それと、消防職員に関してですが、何か聞くところによると、本部があって、あと川内とか脇野沢、大畑とかあるのですが、大畑とか脇野沢、そういうところから職員を本部にやって、本部は100%のニーズになっているけれども、大畑とかそういう各地区のほうの職員が足りなくなっているような話も聞いたことがありますので、そのところを市長はどのように認識しているのでしょうか。何かそういうようなものもあるみたいですね。本部のほうは定員100%ぐらいにはきちんとなっているけれども、ほかのほうから職員を引っ張ってきているような、そういう話も聞いて、そのところを市長、どのように認識していらっしゃるのか。そういう意味では、本部はきちんと定員どおりだけれども、ほかのほうが何か定員が不足したりして、ちょっと大変だなという状況もあるのではないかなというふうに思っていますので、その認識、ちょっとお聞きしたいなというふうに思います。

○議長（村中徹也） 市長。

○市長（宮下順一郎） 答弁漏れがございました。ヘリポート3カ所というふうなことでございます。ヘリポートに準じた形の中で、ヘリポートというふうな形での銘は打っておりませんけれども、私はヘリポートというのは市内に何カ所あってもいいものと、こういうふうな考えを持っております。つまりそれは、例えば脇野沢地区でしたら中学校のグラウンドだとか、そういうふうなものがただちに対応できるもの、そしてまたこれ全国市長会の中でも話題になっておりますし、本当にこれだけの広域な、広大な面積を持っているところは、例えばここに3カ所というふうな形に限定してしまうと、例えばこの場所、市役所庁舎前、それから運動公園、そして新たに建設を予定しているむつ総合病院というふうな形で、この3カ所も必要ではないのではないかなというふうな部分だと思うのですけれども、決してそうだとは思いません。例えば運動公園に指定をしてしまい、ここ1カ所ということになりますと、さまざま土曜日、日曜日のスポーツの大会、そういうふうなイベントがあります。そしてまた冬場、あの部分は除雪ができません。そういうふうなもので、やはり違うところが必要だろうと。では、庁舎前はどうか。これまた除雪、そういうふうな部分、さまざまな形でこれから市役所の駐車場

を使つてのイベント、そういうふうなものも想定をされるわけでございます。その部分ではむつ総合病院のそばに、そして安定した形で運営できるヘリポートというふうな部分、またそれぞれの地区、大畑地区においても球場だとかそういうふうなものもヘリポートとして想定をしているわけですが、そういうふうなヘリポートの充実ということは、救急車で患者さんを搬送する、そういう部分の搬送のストレス、それをなくするために、やはり近々のところでヘリポートが対応できる体制を整えていくのが市民の安全を、そして安心感を持っていただくため、医療の充実のためには必要であると、私はこのように認識をしておりますので、各地にそういうふうなものを、金をかけないで、さまざまな整備できるところはヘリポートとして活用していきたいと、このように思っております。

あと消防職員、中央の本署のほうに集まっているのではないかと。これは人事交流の部分もあります。さまざまな部分で技量を高めていただく、そういうふうな部分での人事交流、これもあります。

そしてまた、先回の全協だったでしょうか、ある地区の消防署の分署の中で人数がちょっと不足だよというふうな問いかけがございましたので、私はそこを確認をいたしました。決して満足はしていないけれども、また本当に不足だという状況ではないし、そういうふうなところを今後人事配置の中で生かしていきたいと、こういう判断をいたしております。

○議長（村中徹也） 横垣成年議員。

○5番（横垣成年） 最後、このヘリポートに関連してですが、結局こういうヘリポートを設置しなくてはいけないという背景には脳外科のお医者さんが不足しているからやっぱりそういう整備が必要だと。そればかりではないのですが、かなり強調されて、市民からも要望出されているのです。市長としてはぜひとも脳外科のお医者さん、今1人ぐらいですか、いるのは。ですから、この先生を何とか市長として2人3人むつ総合病院に配置するよう努力してもらいたいと思うのですが、そこの市長の決意のほどをお聞きしたいと思います。

○議長（村中徹也） 市長。

○市長（宮下順一郎） 努力しております。また、病院院長を中心としてさまざまなネットワークの中で努力を今継続中であります。何とか脳外科の先生を確保したいと。しかしながら、一方ではその先生、Aドクターを、脳外科の先生をお願いをしてくると、そこの勤務している脳外科の先生がいなくなるといふような状況もあるわけでございますので、今さまざまな努力を重ねているということにとどめさせていただきたい。

ヘリポートによって、脳外科の先生の部分もありますけれども、高度医療というふうなのを進めるためには、むつ総合病院でフルスペックの装備をするというふうなこと、そうしますと、また経営状況、そういうふうなものもありますので、ただちに搬送できるシステム、より高度な医療ができる中央病院、また大学病院、そういうところに搬送できるというふうな非常に救命率の向上、そして非常にとうとい命を我々がしっかりと守るのだというふうな意識を皆様方にお伝えすることによって医療に対する安心感、それがもたらされるものと、このように期待をしております。

以上です。

○議長（村中徹也） ほかに質疑ありませんか。新谷泰造議員。

○2番（新谷泰造） まず、今のヘリポートの関連で質問したいのですが、庁舎移転のときに、庁舎前にヘリポートを設けることはむつ総合病院の広域医療を補完する作用を重視するという理由があったと記憶しておりますけれども、それにもかかわらず急遽今むつ総合病院にヘリポートを設ける理由がいま一つ明快でないので、その点をひとつ説明願いたいということです。

もう一つは、今の発言の内容ですと、むつ総合病院、下北医療センターのほうに設けられた場合には庁舎のヘリポートのほうは廃止するという趣旨なのか。2点についてお願いいたします。

○議長（村中徹也） 市長。

○市長（宮下順一郎） 要するに庁舎のヘリポートがあるのにむつ総合病院になぜつくるのかというふうなご趣旨だと思います。やはりその部分においては、むつ総合病院といたしましては、ただちに患者さんを搬送できると、そのシステムの中で非常に患者搬送のストレス、その部分を減少できると。そしてまた、ヘリポートができて、むつ総合病院から、より高度な医療施設、そこに搬送することがスムーズにできるというふうなことで、さまざまな部分で検討してきた結果、そういうふうな形になったわけでございます。

では、むつ総合病院にヘリポートができた場合、市庁舎前の駐車場はヘリポートとしてなくなるのか。私は、決してそういうふうな形にはならないと。先ほどお話をいたしましたように、さまざまな気象条件、それからその周辺の状況、そういうふうなものでヘリポートというのは幾つあっても私はよろしいのではないかという判断をいたしております。

○議長（村中徹也） 新谷泰造議員。

○2番（新谷泰造） そういたしますと、庁舎前のヘリポートの主要な目的はどのようなのでしょうか。

○議長（村中徹也） 市長。

○市長（宮下順一郎） 患者の搬送でございます。

○議長（村中徹也） 新谷泰造議員。

○2番（新谷泰造） いや、庁舎前のヘリポートについてです。むつ総合病院のほうではなくて、この庁舎の前のヘリポートの主要な目的は何になるのですかと。

○議長（村中徹也） 市長。

○市長（宮下順一郎） それは、先ほど新谷泰造議員に答弁をいたしましたように、気象条件、さまざまな状況が出てくるわけでございます。そういうふうなところで、すべての、100%その離発着がむつ総合病院でできるということになればようございますけれども、先ほど懸念した部分がございます。そういうふうな状況で使えない、風向きだとか、そういうふうなことがあるわけでございます。そういうふうなところで、やはり補完的な部分、これはしっかりと確保することが必要であろうと思いますし、また庁舎のヘリポートとすれば、災害時のさまざまな物資の搬送、そういうものも出てくるわけでございます。そういうふうなことで庁舎前のヘリポートはそれなりに存続をさせる必要があると、私は今の段階では考えております。

○議長（村中徹也） ほかに質疑ありませんか。菊池広志議員。

○14番（菊池広志） 今年度むつ総合病院の入院患者が16万余、そしてまた外来患者を年間36万人と見込んでいるようでありますが、駐車場の施設が市民からはどうも利用しづらいと、そしてまたもっと駐車場のスペースが欲しいというような声が聞こえてくるようであります。このことについて、病院側の対応策というふうなものはどのようなことを考えているのか、ぜひお聞かせいただきたいと思います。

○議長（村中徹也） 市長。

○市長（宮下順一郎） 職員の駐車場、今メンタルヘルス、さまざまな部分で工事が入ったりしますと、職員がまた押し出されてくる部分、こういうふうなものがあります。その部分におきまして、病院の向かい側の駐車場、それから百貨店寄りの駐車場、新たに借りることになりまして、それなりのスペースは確保するというふうな報告を受けております。

○議長（村中徹也） 菊池広志議員。

○14番（菊池広志） 土地の確保はされたということであれば、それはそれとして大変結構なことではないかなというふうに思います。ただ、このむつ市の降雪地帯というふうなことを考えれば、降雪、雪が大変多く降るというふうなことを考えれば、スペース的に駐車場の土地を利用することも一つの手ではあるなとは思いますが、駐車場から病院まで行く距離がどんどん、

どんどん遠くなってきているというふうなことを考えると、この雪が降る地域を利用する方法というようなものも考えてもいいのではないかなというように思います。例えば2階建ての駐車場スペースを設けるとか、3階建てとなると、雪が降っても利用する人たちは1階、2階に駐車場をすることにより、雪の被害というようなものはない、被害といいますか、面倒くさくなく駐車ができるというようなことが考えられるわけですがけれども、そのような2階建て、3階建てというふうなことの駐車場スペースというようなものを考えてはおられないですか。

○議長（村中徹也） 市長。

○市長（宮下順一郎） 考えているかどうかというふうなお尋ねですので、現時点では考えておりません。ただ、できるだけ患者さんの車、家族の車、そういうふうなものについては、現在有料の部分、そういうふうなところを、なるべく近場を確保するように病院側には伝えておいて、当然職員等はそこに入っているわけではございませんので、その部分については駐車場の有効な、そしてまた利便性の高い患者さん、また家族にとっての使いやすさというふうなことは伝えて十分に配慮していきたいと思いますので、ご理解いただきたいと思います。

○議長（村中徹也） 菊池広志議員。

○14番（菊池広志） 確かにスペースは確保しているようであります。ただ、利用者の方々は非常に遠いと。駐車場がある場所が遠過ぎて、病院に来るのに一番歩かされるのが駐車場から病院の入り口に入るまでが非常に長いというようなことは言われております。私も現に利用しますけれども、病院のすぐ前の駐車場はもうほとんど利用することはできないのであります。病院に行くために、その駐車場から病院までの距離が長いというようなことは皆さんからよく言われますので、私は先ほど話したとおり、駐車場のスペースは駐車場から病院までが非常に短い距離にあるというようなことが非常に求められているのではないかなというふうなことで、先ほどもお話ししました。2階建て、3階建ての駐車場が必要ではないのかなというふうに考えますが、この点について市長は。先ほどは考えていないと言いましたが、私は2階、3階建て、非常にいいのではないかなと思うのですけれども、再度お聞きしたいと思います。市長、どのようなお考えであるか聞きたいと思います。

○議長（村中徹也） 市長。

○市長（宮下順一郎） 駐車場の狭さというふうなことで、今菊池広志議員のほうから2階建て、3階建てと……

（「地下もある」の声あり）

○市長（宮下順一郎） 地下もあるというふうなことで、さまざまそういうふうなところを下北医療センターの管理者のほうにお伝えをしていきたいと。どういうふうな形で今後そういうふうなところ、駐車場不足というふうなところを解消していくのかというふうなことは伝えておきます。

○議長（村中徹也） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（村中徹也） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

以上で各一部事務組合の現況と経過報告を終わります。

お諮りいたします。本日の全員協議会は、これで閉会したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（村中徹也） ご異議なしと認めます。

よって、本日の全員協議会はこれで閉会いたします。

午前 11 時 48 分 閉会

全 員 協 議 会 会 議 録

(平 成 2 2 年 6 月 8 日)

1 . 各一部事務組合の現況と経過報告

む つ 市 議 会